

なくそう！

官製ワーキングプア

集会

in

九州

◆パート1：社会保障の改善、充実をめざす

講演：伊藤周平氏（鹿児島大学 法文教育学域法文学系 法文学部法経社会学科 教授）
報告①ユニオン北九州ソレイユ（介護事業者のミャンマー労働者）
報告②成瀬えみ（公共サービスの民間職場）

◆パート2：自治体の雇用責任を問う

訴訟代理人報告～安元隆治弁護士（ナリッジ共同法律事務所）
原告①重藤さん（裁判終結の報告）
原告②小郡市Sさん（地裁での訴訟報告）

◆パート3：改善事例報告

報告①大阪府箕面市（箕面の非正規当事者労組甲斐さん）
報告②鳥取県ほか（大阪実行委の川西さんが報告）

◆パート4：実行委員会・参加団体からの報告＋会場発言



申込フォーム

2025/ **8/30** (土)
13:15~16:50 (受付 13:00~)

福岡県弁護士会館
3階301会議室

福岡市中央区六本松4丁目2-5

※参加費:500円 ※Zoom配信もあります。



官製ワーキングプア集会とは

昨年8月31日、「なくそう！官製ワーキングプア九州集会」の初開催。台風が通り過ぎ、30℃の気温が戻った福岡の弁護士会館。会場に60人、Zoomで11人が参加した。

九州ではかなり以前からこのテーマでの交流があった。しかし、いろいろなことが重なり、なかなか次の一歩へと進まなかった。きっかけは、北九州市での新卒非正規女性相談員の自死とご遺族ご両親による訴訟だった。

福岡地裁や高裁での公判の後、原告をお招きしての会を積み重ね、そこに参加された皆さんを中心に実行委員会が作られた。裁判が繋がりを作ったので、初めて顔を合わせる同士。でも、会議を重ねて行くうちに、お互いを知り、打ち解けることも出来た。